



2008年3月25日

インターネットマルチフィード株式会社

## JPNAPサービスにおけるIPv6への本格対応について

インターネットマルチフィード株式会社(略称:MF、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木幸一)は、JPNAPサービスにおいて2002年より試行的にIPv6アドレスに対応してまいりましたが、IPv4アドレスの枯渇問題や、ネットワーク機器におけるIPv6対応の進展を背景にインターネットプロバイダのIPv6対応も今後ますます拡大すると予想されることから、他社に先がけ2008年4月1日よりIPv6アドレスに標準で対応することといたしました。

これにより、JPNAPサービスをご利用いただくにあたり、お客様の環境に応じて「IPv4 native」、  
「IPv6 native」、IPv4/IPv6デュアルスタック接続環境(注1)に対応した「IPv4/IPv6 Dual Stack」から  
お選びいただくことが可能となります。

なお、IPv6アドレス本格対応に伴い、IPv6ネイティブ接続環境(注2)に対応したIXサービス  
「JPNAP6(試行)」は、2010年3月をもってサービスを終了させていただく予定です。

MFでは、今後もインターネットの飛躍的かつ健全な発展を推進し、社会的インフラとしての信頼  
性向上に寄与するサービスの提供に先駆的に取り組んでいきます。

### 1. サービス概要

JPNAP サービスにおいて、IPv6 アドレスに標準で対応いたします。

これにより IPv4 アドレスに限らず、「IPv6 native」、「IPv4/IPv6 Dual Stack」でのご利用も可能と  
なります。

### 2. 対象サービス

JPNAPサービス

- ・JPNAP東京 I サービス (10GbEポート、GbEポート、FEポート)
- ・JPNAP東京 II サービス (10GbEポート、GbEポート)
- ・JPNAP大阪サービス (10GbEポート、GbEポート、FEポート)

### 3. ご利用料金

JPNAP サービス月額料金に含まれます。(工事費:別途)

### 4. スケジュール

2008年4月1日より本格対応開始

なお、JPNAP6(試行)の新規お申込みは、2009年9月末日をもって終了いたします。

(注1) 現行のインターネット技術である「IPv4」および次世代インターネット技術である「IPv6」を、同一のネットワークで同時に利用できる環境のこと

(注2) IPv6のデータをそのままインターネットで伝送する方式

[本件に関するお問い合わせ先]

インターネットマルチフィード株式会社 広報担当

電話:03-3282-1010

FAX:03-3282-1020

E-mail:info@mfeed.co.jp

URL:<http://www.mfeed.co.jp/>